

2021年度第1回日本臨床環境医学会評議員会・総会議事録

とき：2021年7月31日（土）

ところ：会員への郵送により評議員会・総会開催とし、異議がないものを評議員会・総会議事録とした。

議長：関根嘉香（第29回日本臨床環境医学会学術集会会長）

議題

報告事項

1. 事業報告

Covid-19感染拡大により、第29回学術集会の順延（現在開催中）、学会誌の2020年度発刊遅延、昨年度の理事会で承認済みの日本学術会議協力学術研究団体の申請遅延、事務委託の遅延等があったが、分科会はそれぞれ活発な活動が展開された。

2. 会員数報告

現在約250名。昨年度8名入会。角田理事、鈴木理事等が退会。

3. 編集委員会報告

角田編集委員長、鈴木編集委員の退任に伴い、鍵直樹理事、佐藤勉理事、東賢一理事を加えた。2020年度は2021.3.31発刊の29(1)のみ。今後29(2)及び2021年度の順調な発刊を目指す。学術著作権協会への「臨床環境医学」電子版および学術集会抄録集も委託。

4. 2020年度分科会活動報告について(HP参照)

5. 学会HP管理について（自主管理が順調に進行中）

6. 日本学術会議協力団体への申請について

登録申請が遅延。会員整理が済み次第申請予定。

審議事項

1. 理事長の改選について

互選の結果、坂部貢東海大学医学部教授が第7代理事長として1年間の任期の条件で選出され、承認された（会則上は2年任期）。

2. 執行部体制について

会則にしたがって新たに編集担当理事に木村穰理事が任命され、編集委員長に森千里理事が指名された。また監事は山田高也会員の退会を機に新たに清野正子会員に委嘱予定で承認され、2021年度会計監査を担当することが決定した。

3. 分科会申請について

分科会内規では設置期間は2年となっていることから、現在の3分科会が継続申込書を提出。HPに活動計画を掲載する。環境過敏症分科会は水越評議員が新副代表となり、室内環境学会の分科会と調整をとりながら会計を担当する予定。

4. 2020年度・2021年度の年会費の扱いについて

2020年度はCovid-19の影響もあって学術集会が順延となったことや「臨床環境医学」の発刊もなかったことから、特例として2021年度分も含んでの年会費とする（従来の年会費を2020年度・2021年度に限り2年度分に読み替える）ことが理事会で承認されたことを追認。

5. 2020年度会計報告について
資料（同封）に基づき2020年度会計報告が行われた。
6. 2020年度会計監査について
2020年度事務局経費、分科会活動費、本会収支について山田監事による会計監査報告書が示され、承認された（理事会確認済み）。
7. 2021年度予算（案）について
坂部財務担当理事より2021年度予算案が提示され、承認された。上記4により、100万円の赤字予算を組んでいるが、繰越金などで十分対応可能。
8. 2021年度次々期会長の選出について
東賢一理事にお引き受けいただくことが再確認。
9. 「臨床環境医学」投稿規定の改訂等について
投稿規定のうち、誌面へのメールアドレスの記載等についての改訂、また目次の著者名（連名）の表記形式改訂について承認。HP参照。
10. 事務局の業務委託について
学会支援機構の再見積の結果が示され（理事会確認済み。会員数減少により60万円程度に減額）、委託の話を引き続き進めることが承認された。
11. 今後の企画について（学会活性化など）
今後、若手会員を活性化するための研究奨励金なども含め、ワーキンググループを発足させることで了解が得られた。

以上